



下妻市の

お宝コレクション 2024

～下妻市で見つけた! つながり・支え合い～

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会





愛宕神社 秋祭り

2024.11.17

Photo 

活動報告

五穀豊穡と地域の安全を願うこのお祭りは、毎年11月の第3日曜日に行われ、鳥居と境内には地域の方々に手作りされた真新しいしめ縄が取り付けられていました。

お祭りの開始を知らせる太鼓の音が響き渡ると、氏子である地域の方が続々と神社に集まり、賑やかだった拝殿は神主の祝詞が読み上げられると一変、神聖で厳かな空気に代わりました。

このお祭りには多世代の皆さんが参加されており、年長者から若手にアドバイスがある場面も見られ、時代に合わせて少しずつやり式を変えながらも、このように伝統行事として脈々と引き継がれてきたのだなと感じました。

Photo 

活動報告

11/23（土）巴会 40 周年記念式典が行われました。巴会とは、下妻地区にある、西町・旭・陣屋、3町内が「協力し合って共に進もう」と設立した会です。

当日は地域の方がたくさん下妻神社に集まり、迫力あるお囃子でテンションがあがったり、小学生が校歌をうたったり、ダンスの発表でみんなが笑顔になったりと 40 年分の思い出を振り返りながら過ごされていました。

実行委員長の田中さんは「少子高齢化に伴い地域のつながりが弱まるなか、新しい方も地域に増えています。長きにわたる地域のつながりを絶やすことがないように、新しい住人の方や若い世代にも参加しやすい地域行事を、これからも考えみなさんと共に、一歩ずつ進んでいけたらと思っています」と話していました。

40 年の月日はあっという間。その中でうまれる地域のつながりは何よりも大切なものです。日々の何気ない会話や助け合いが、個々の暮らしを支えてくれます。これからも地域のつながりを大切にしていきたいですね。

Photo



活動報告

ふれあいサロンは毎月第3木曜日に集い、ヨガや小物作り活動を行っている他、美術館巡りなどの観光も楽しんでいます。

今回は12月19日（木）に開催したお食事会にお伺いしました。おいしい香りにつれられて調理室に入ると、会員の方が役割分担をして手際よく調理を進めて折、完成してテーブルに敷き詰められたたくさんのお料理は、どれも色どりがよく盛り付けも細やかでとても美味しそうでした。

その後お料理を囲み、いただきますの言葉と共に、和気あいの遅く次回の時間となりました。

明るく素敵な雰囲気ですてきなサロン活動に触れ、今後の活動も楽しみです。

Photo



活動報告

小野子サロンに行ってきました

小野子いきいきサロンは平成 19 年から活動しているサロンで、現在会員は 16 名。月に 4 回集まり楽しく過ごしています。

2/16（日）は「ヘルスバランス体操」を行い、脳を活性化するためにいろいろな事に挑戦していました。まずは足と手で別々の動きをして体操をしました。2つの指示をやる事にみなさん苦戦していましたが、「考えることが脳の活性化につながる」と先生からのお話があり、みなさん納得し笑顔で体操されていました。

ハンドベルもやりました。みなさんものすごく楽しかったようで、何回も何回も美しい音色を奏でていました。最後にラダーゲッターに挑戦しました。チーム戦にしてみんなで楽しみました。

体をうごかしながら楽しく交流できる小野子いきいきサロンは、みんなで協力し、健康にも良い活動を続けています。

これからも長～く続けていきたいです。

Photo



活動報告

毎週火曜日、平方地区の神社にカスミ移動スーパーがやってきます。移動スーパーの到着予定時刻の30分前にも関わらずご近所の方々が次々に集まり、楽しいおしゃべりタイムが始まります。利用する方の多くは運転免許証を返納した一人暮らしで、“ここに来れば誰かがいるから”と自然とみんなが集まるようです。「離れて暮らす家族が買い物をしてくれてくれるけどやっぱり自分で選びたい!」「友人と話をしながら買い物は楽しいよね♪」と気づけば買い物籠の中は商品でいっぱい!!今夜のお夕飯は何にするんでしょうね。

平方地区はコロナ禍以前に開催していた老人会の活動が無くなり、集まる機会が無くなってしまったそうです。「みんなで歌を歌ったり楽しかった」「集まる機会がもっとあったらいいのにな」と昔を懐かしむ声もありつつも、平方神社には笑顔がたくさん溢れていました。



Photo



活動報告

3月23日(日)黒駒地区にて市道や上妻小学校隣接の空き地などの環境整備活動を行う黒駒ふるさとクラブの活動に行ってきました。メンバーは黒駒地区の方方で、この日の活動は7名。開始時刻になると、それぞれが持ち場に合った道具(熊手、草刈り機、高枝切りばさみなど)で作業開始。始めは各自で取り掛かった作業も、協力が必要な部分では相談・分担をしていました。

「大変な場所はもっと凄いよ～」と手際よく作業を進める姿はとても頼もしく見えます。下の名前呼び合い、長年のチームワークと共に、息の合った作業の秘訣は信頼関係のようです。

1時間半の作業を終え、鬱蒼としていた道は明るくすっきりとし、私たちの気分まで晴れやかに。作業後は休憩時間に情報交換会をするのも楽しみにしているようです。

地域の身近なその場所は、地域を大切に想いながら、地域の方の優しさと大きな行動力によって支えられていました。